

令和6年度（2024年度）当初予算編成方針について

社会構造と価値観が変容する中、未来を展望し、行動に移す重要な分岐点にあるとの認識のもと、みんなで描き、ともに創る「健康しが」を目指して予算を編成

基本的な方向性

1 みんなで描き、ともに創る「健康しが」を目指した施策構築

- 子どものために、子どもとともにつくる滋賀県の実現を図るとともに、世界と滋賀の未来を見据えた新たな一歩を踏み出す施策を構築する
- また、県北部地域の振興および大阪・関西万博や国スポ・障スポ開催といった大規模イベントに向けた着実な取組とレガシーの創出に、集中的に取り組む

2 財政健全化の推進

- 将来の財政の持続可能性を確保するため、行政経営方針2023-2026で定めた収支改善の取組を確実に進めるとともに、業務の見直し・効率化に着実に取り組む
- 特に、今後5年間は、大規模事業等の実施に伴い、財政調整基金の急激な減少が見込まれるが、そうした中であっても、県民サービスの充実や将来に向けた投資に積極的に対応していくため、事業見直しによる財源のシフトに全庁挙げて取り組む

※物価高騰対策は社会経済情勢等を見極めながら、予算編成過程の中で適切に対応する

1 みんなで描き、ともに創る「健康しが」を目指した施策構築

現状認識

- 気候変動、生物多様性の損失、人口減少、デジタル技術の革新など社会構造が変化する一方、利他のこころ、「三方よし」の理念、「新しい豊かさ」などの重要性が再認識
- こうした社会構造と価値観が変容する中で、改めて「豊かさ」や「幸せ」を考え、社会のあり方に向き合い、子ども・若者が夢と希望とともに歩む未来を展望し、行動に移す重要な分岐点

施策構築の方針

- あらゆる施策の中心に子どもを置き、子どもの意見や思い、視点を施策に反映させ、子どものために、子どもとともに作る滋賀県の実現を図るとともに、世界とのつながりを広げることや、GX・DXの可能性をより一層追求するという視点を持って、世界と滋賀の未来を見据えた新たな一歩を踏み出すため、5本の柱に沿って施策構築を行う
- また、ここ数年間で取組が広がる2つの重点テーマに集中的に取り組む

施策構築の柱

- ①子ども・子ども・子ども
- ②ひとづくり
- ③安全・安心の社会基盤と健康づくり
- ④持続可能な社会・経済づくり
- ⑤自然環境や生物多様性の保全・再生

重点テーマ

- ①県北部地域の振興
- ②大阪・関西万博やわたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催への着実な取組の推進とレガシーの創出

2 財政健全化の推進

行政経営方針2023-2026期間中の収支の状況

- 令和5年度から令和8年度までの**財源不足額が623億円**見込まれるが、**収支改善の取組**により、令和8年度末の財政調整基金の残高は財政運営上の目標である100億円以上を確保できる見込み

令和6年度当初予算における取組方針

- 引き続き将来に向けて、**財政の持続可能性を確保**していくことが重要

歳入

- 基幹的な歳入である**県税や地方交付税の安定確保**、**国庫や外部資金の活用**に加え、**自主財源の拡充**に向けて積極的に取り組む
- 自主財源拡充による**増収実績相当額は新たな施策等に充てる**ことができる（歳入インセンティブ）

歳出

- 財政の健全化に向けて、**施策・事業の選択と集中の一層の徹底**を図り、最少の経費で最大の効果が挙がるよう**必要な見直し**を不断に行う
 - 事業の**見直しにより生み出した財源の1.5倍まで**、**新たな施策や制度拡充に財源をシフト**することができる（事業見直しインセンティブ：**新設**）
- 特に、今後、多くの大規模事業が予定されている中であっても、財政の持続性・安定性を確保しながら、県民サービスの充実や将来に向けた投資を着実に実施していくため、**積極的な事業の見直しが不可欠**
 - 令和6年度当初予算に向けて、こうした投資等を計画的に実施していくためにも、事業の見直しにより、**新たな行政需要への「ヒト・財源の配分のシフト」**を進める